



焼石岳山頂

台風 11 号との追いかげごっこのような山登りであった。17 日に東京を出るときには、台風は鳥取あたりにいた。焼石岳に登る日は一番ヤバそうであったが、頂上付近でパラパラときた程度で済んだ。ラッキーであった。メンバーはジジイ 6 名、ババア 6 名の 12 名。ババアの中には K ザマさんと I ナバさんがいた。K ザマさんは相変わらず花博士である。ジイサマの中に私の半ズボン姿に見覚えがあるという人もいた。今回は水沢江刺まで新幹線による移動である。大阪から来ている S ガラさんは現地集合であった。キップは自分で手配してジパングを使って 3 割引きであったとのこと。頭のいい人はいるもんだ。ツアーリーダーは吉岡さん、2013 年の比叡山以来だ。東北のガイドは引地さん。ダジャレを交えたりして陽気なガイドさんだ。

焼石岳の中沼登山口コースは、冷たい水がのどに心地好い銀明水までは樹林帯の中のムシムシとクソ暑い中の道であり、それを過ぎると稜線上の草原地帯の心地好い道になる。晴れて



吉岡さんと引地さん

いれば景色も良いのであろうが、残念ながら暑いガスに妨げられてほとんど見えなかった。でも台風との追いかけてこの条件下ではこれでもよしとしなければなるまい。

この夜のホテルで、二百名山一筆歩きを遂行中の田中陽希さんに出会った。フロントでバツタリ顔を合わせたので、“あ、田中陽希さん！”と言ったら、一言“そうです”



ヒオウギあやめ



ハクサンシャジン



ハクサンフーロ



?



水芭蕉



高山植物も結構あったが、例によってあまりわからない。K ザマさんがいろいろ教えてくれるが、いつもの通り頭の中には留まってくれない。ヒオウギあやめは、ほとんどは枯れかかっていたが、中には鮮やかなものもあった。黄色い花はキンポウゲやキンバイなどの他に、ミヤマダイコンソウに似たのがありこれも K ザマさんに教えてもらったが、初めて聞く名前であってやはりキャパの少ない頭の中には残らなかった。





栗駒山

雨覚悟で登った土曜日の焼石岳は曇りでラッキーであったが、晴れるはずの日曜日の朝は雨であった。このため栗駒山登山は、秋田県側から宮城県側へ縦走する予定を変更して、宮城県側からのピストンになった。日曜日ということもあったので、家族ずれが多かった。駐車場から 2 時間もあれば登れるので、家族ずれなどで来易い山なのであろう。道も、半分は遊歩道のようにになっている。

今回もシングルストックで歩いてみたが調子いいようだ。これが合っているのかも知れない。